

# 鶴の声

vol.11  
2021.12

## 鶴声会役員紹介

会長	副会長	常任幹事	幹事
木村 一也	片山 嘉政	長瀬 敏和 菅付 章宏 赤松 英彦 森 博文 居川 寛子 重利 和徳 鬼本 敏男 藤澤 克彦 大塚 舞奈 元吉 恵子	
幹事		事務局長	事務局
板野 直子 中井 章徳 窪田 紀之 田井 志帆子 岡村 晃平 杉山 里緒 高橋 万由花 堀 愛美		小山 陽介	武田 真理子 館 一彰
会計	書記	監査	顧問
逸見 奈保 平松 朋子	岡 諒美 徳永 晶子 室家 典子 菊井 勝 中桐 寛 大林 史明 松井 輝善 井端 豊実 安部 欽也		

## 各県別会員数

(令和3年8月現在)



### 編集staff

監修：小山 陽介  
制作：館 一彰・逸見 奈保・室家 典子・平松 朋子



### 編集後記

会報誌「鶴の声」も第11号の発刊を迎えて非常に嬉しく思います。毎回、発刊に際し、取材協力、情報などご提供いただき大変感謝しています。今後も卒業生の活躍の様子など数多くご紹介したいと思いますので、情報があれば鶴声会事務局までお寄せください。

今年度も鶴声会幹事に食文化学部卒を迎え、音楽学部・食文化学部・子ども教育学部とますます連携した体制が整いますので、より一層、情報発信や学部を超えた親睦のためのサポートができると考えています。

昨年度予定されていた総会が中止になったことは非常に残念ですが、この新型コロナウイルスが早く終息して、次回総会を再び作陽の聖地津山にて開催し、皆さまとお会いできることを願っています。

## TOPICS

### 思い出の地 津山



### くらしき作陽大学同窓会 鶴声会

〒710-0292 岡山県倉敷市玉島長尾3515

Tel:086-523-0888 Fax:086-523-0811

(くらしき作陽大学代表番号)

katayama@ksu.ac.jp

<http://sakuyokakuseikai.iinaa.net/>



## 会長あいさつ



くらしき作陽大学鶴声会

会長 木村 一也

(昭和58年 音楽学部音楽学科卒業)

鶴声会会員の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。令和2年10月24日の総会(新型コロナウイルス感染防止の観点から、総会を幹事会に代え開催)において会長に就任いたしました木村一也と申します。どうぞよろしくお願いいたします。日頃より同窓会鶴声会の活動に際しまして、ご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。

くらしき作陽大学同窓会鶴声会の歴史も半世紀を超え、同窓生の数も1万人を突破いたしました。いろいろな意味において、これからまた新たな活動を模索し、同窓会の役目をどう果たしていくかを考えなければならないと感じています。特にこのコロナ禍における様々な制限がある中での取り組みや活動は、今までとは異なり、視点や考え方を考えなければならぬのではないのでしょうか。同窓会の活動においても、様々なイベントの中止や縮小を余儀なくされている中、感染防止策をしっかりと図りながらの活動、Webを活用しての活動等も考えていかなければならないと思っております。ただ、浅学非才な私であります故、会員の皆様からお知恵を拝借し、会長職を努めてまいりたいと思っておりますので、皆様のご支援ご協力をお願いいたします。

会長に就任し1年が過ぎましたが、コロナの影響もあり会員の皆様に繋げていったり、本来であれば卒業式に出向き、卒業される皆さんへ鶴声会としてお祝いの言葉を伝えたりすることもできず、いまだもって会長としての活動ができていないのではないかと感じております。

しかしながら、くらしき作陽大学の後輩(令和2年度卒業生)たちは、コロナ禍にあっても学業に励み、幼稚園教諭、保育士、栄養士、小・中学校教諭、レスナー、演奏家等として多くの学生が自分の夢に向かい羽ばたいていったと聞いております。ことに大学としては素晴らしい

成績を誇る、管理栄養士合格率が97.7%を達成したということです。頼もしい後輩たちで、卒業生としても誇らしく感じております。これからは同窓会(鶴声会)の会員仲間として、力を貸していただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

また、令和3年度の入学式の式典も前年度の卒業式同様行われなかったようですが、入学生304名(学部・短大)には心よりお喜びを申し上げます。そして、希望にあふれる学生生活が充実し、夢に向かい将来社会を生き抜くための力を、くらしき作陽大学で培ってください。くらしき作陽大学には魅力がたくさんあるように思いますので、一日一日を大切に頑張ってください。

私事で恐縮ですが、私自身もくらしき作陽大学の前身である作陽音楽大学に学び、貴重な体験をさせていただき、今の自分があるのだと感じておりますし、くらしき作陽大学(作陽音楽大学)で学べて良かったと思っております。学生時代にはベートーヴェンの交響曲第9番の公演に参加し、オペラ「蝶々夫人」の公演では合唱として舞台に立たせていただいたり、モーツァルトミサヴェヴィス「雀」でソリストをさせていただいたりしました。課外活動では、岡山市芸術祭において、オペラ「温羅の砦」の公演にも参加をさせていただきました。大学祭の実行委員長や吹奏楽団のクリスマスコンサートでの司会、そして、創作オペラクラブ「劇団つくし」の部長として、立ち上げ・旗揚げ公演を行い、数々の貴重な経験をさせていただき、充実した学生生活を送ったように感じております。また何より、先生方をはじめ、先輩・同級生・後輩、大学周辺の地域の方々との関わり、いろいろな人との繋がりがあって、今の私があるのだと感じております。

いまだ新型コロナウイルスの収束が見えない中ではありますが、各支部での取り組みや活動の情報を交換し合い、くらしき作陽大学同窓会鶴声会ならではの活動が展開できることを願っています。

最後になりますが、会員の皆様の今後ますますのご活躍とご健勝を祈念するとともに、鶴声会への変変わぬご指導ご鞭撻を賜りますことをお願いし、ご挨拶とさせていただきます。

## 学長あいさつ



くらしき作陽大学

学長 松田 英毅

卒業生の皆さん、お元気ですか。大学のキャンパスも「春は花 夏ホトトギス 秋は月」と、

季節の移りを正確に見せています。

昨年からのコロナ禍で、それぞれご苦勞されていることと思います。大学も対面授業やオンライン授業をおりませ、厳しい予防策を取りながら授業を行っています。残念なのは、毎年行われていた同窓生の集まりができないことでしょう。久しぶりに会って、楽しい語らいのできる日が一日も早く来て欲しいと願っています。

近年、SDGsという言葉を目にすることが多くなりまし

た。これは世界中が持続可能ということを求めだした証です。お金が一番幸せの元と考える現在の経済至上主義社会がこのまま進めば、地球の自然環境破壊などで人類が滅亡の道を進むとの予見から生まれています。人類文明を真に持続可能にするには、作陽の建学の精神が重要な働きをしてくれると思います。貪欲を抑え、世のため人のために尽くす、自利・利他の働き、菩薩魂の発揮です。皆さんが日頃なされている生命あるものを大切に、家族のため、職場のために働き、なくてはならない人になられているその行い、その精神が、今求められている持続可能な世界をつくるものだと思います。

有名人でなくていい。置かれたところで一隅を照らすような人になってください。それが人類の理想の世界をつくります。これからも作陽魂を誇りを持って発揮し、元気いっぱいの人生活を送っていただきたいと祈っています。

## 同窓会鶴声会各県支部からのお知らせ

2020年から始まったコロナ禍の影響で、県支部においても「支部総会の中止」「演奏会の中止」「講座の中止」と大きな影響を受けています。

その中でも、「出来ることを出来る範囲で」と計画をされている県支部からも情報が届いています。

山口県支部では次期総会に向けて幹事会が開催されましたのでお邪魔してきました。

総会の計画、山口県支部として吹奏楽楽器別クリニックの計画、県支部役員の交代についてなどが協議されました。こちらは総会で諮られることとなりました。

高知県支部では支部創立45周年記念演奏会が9月20日に予定されていましたが、コロナ禍を受けて中止になりました。役員会でもいろいろと諮られましたが、安全を考慮して中止となりました。次年度開催に向けて計画されることとなります。

愛媛県支部「第3回作陽音楽コンクール」が8月28日に愛媛県西条市丹原文化会館にて万全の新型コロナウイルス感染症拡大防止策の中で開催されました。審査員は、くらしき作陽大学・作陽短期大学のご協力をいただき、竹内京子先生、土居里江先生、重利和徳先生。このコンクールの特色は、出演者の演奏終了後すぐに、審査員から1分間のワンポイントアドバイスを受けられるということです。審査員の先生方から良かった箇所、表現方法など先生がその場で演奏されることもあり、受けられた方だけでなく、指導されている先生方も参考になる場面が多くあります。今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためアドバイスのみでしたが、出演者や指導者にとって有意義な時間となりました。

(写真は第1回、第2回作陽音楽コンクール)

このほかにも県支部長、役員の方より情報をいただいておりますので、ホームページ(<http://sakuyokakuseikai.iinaa.net/>)でもご案内しています。



# 思い出の地 津山

2021年春、思い出の地でもある津山、作陽音楽大学校舎を訪ねてきました。

津山駅からスタートです。

津山線も昔のままの列車が行き交う駅。岡山駅から70分少々で津山に到着。

津山駅から今津屋橋、作陽高校の前を通過して噴水前に上がってきました。

1996年に倉敷に移転した後、短大は2000年ごろまで、作陽高校が数年前まで様々な施設を使用していましたが、老朽化などで現在は多くの建物が立ち入り禁止です。

しかし、噴水前～聖徳殿前～西館前などは、当時のままを伝えています。

数年後には高校も倉敷移転となり、立ち入りも難しくなると思います。

コロナ禍の中、移動制限などある時ですので、落ち着いた時期に思い出の地 津山 を訪れてみてはいかがでしょうか。

B級グルメ、津山鉄道博物館、横野滝、衆楽園など観光スポットとともに知人、友人とご一緒にいかがでしょうか。

津山校舎に立ち入りを希望される方は必ず許可をとって入校ください。

(許可については、同窓会鶴声会 086-436-0297 片山 までお願いします)



津山線に乗り込んで到着した津山駅。現在では駅前も整備されて、雰囲気も変わっていました。のどかな津山線の風景は変わりありません。



今津屋橋から大学を臨む景観はわかりませんが、1990年代までは【作陽音楽大学】の看板が掲げられていました。



津山駅から大学までの吉井川沿いの道からの景観も素敵な場所でした。



大学に到着すると噴水前には体育館、1996年ごろまでは卒業アルバム撮影の人気スポットでした。



噴水前から津山市内を臨むスポット。夕日がきれいなスポット、鶴山公園を臨むスポット、いずれも人気の場所です。



事務局。卒業単位、学割などご縁もあった方も多いのではないですかね。



南館～食堂～売店などあった建物、急斜面にあった階段を幾度となく通った方も多いかと思います。

言わずと知れた聖徳殿。宗教や学内演奏会など多くの授業も行われました。



現在も現存する学内校舎配置図。体育館横に設置されています。



金管練習棟、西館から急斜面を上ると大講義室に到着。北館もすぐそば。



現在の北館入り口。北館には木管練習室、図書館、キーボード室などがありました。



聖徳殿から先に進むと随所に研究室がありました。先生方の研究室にレポートの提出に伺った部屋も現在はこのような状況。



公演研究所。音楽特講としてシリーズコンサートのチケットを受け取りに訪ねた方も多いのではないでしょうか。



金管練習舎に向かう時に北館を見上げると窓越しに授業の様子がうかがえました。



西館。比較的新しい教室が4室設置。またレッスン室も多く配置されていました。レッスンや講義で訪れた方も多いのではないでしょうか。



短期大学玄関。短大食堂を目指して来られた方にはおなじみの建物。



ピアノ練習舎。ピアノ専攻生の練習場所。現在は立ち入り禁止ですが、中を覗くと1990年ごろにタイムスリップしそうです。



津山の景観スポット。神南美山から津山市内の景色。



津山の景観スポット。神南美山から大学付近を臨む。1990年代から趣きも変わってきました。



津山の避暑地、横野滝。流しそうめんなどで訪問されたかたも多いのでは。



津山の名勝地、衆楽園。庭園も見どころの一つ。

## 卒業生のみなさま 知っく情報

### ～お子様の進路のご参考に！現在の作陽を知る大学案内の活用～

現在の大学の情報を知ってみたいという方に、入試広報室に依頼いただければ大学案内などの資料を送付していただけます。

くらしき作陽大学・作陽短期大学の卒業生の子の入学金減免制度があります。

また作陽で取得できる免許、資格を知ること、卒業後の進路の参考になるもので、高校生になってから進路選びではなく、中学生ぐらいから将来を考える機会にもなると思いますので活用されてみてはいかがでしょうか。

現在の入学試験は、一般とか推薦だけでなく、自己推薦のような総合型選抜など多岐にわたります。それぞれの特性を活かした入試制度を大学では導入していますので、自分にあった入試制度を検討する材料にもなります。



### ～作陽で取得した免許資格を活用されてはいかがでしょうか～

今年もコロナの影響を大きく受けていますが、先般、岡山県教育委員会の方が来学され、現在、家庭科教諭、音楽教諭、小学校教諭が非常に不足しており、講師を探すのに苦労されているようです。

そのため、高等学校臨時教員、小学校時間講師、中学校臨時教員など教育現場では、このような方も望まれているようです。教員免許は10年で免許更新が必要ですが、教育委員会で臨時免許を発行していただけるなど対応方法もあるようです。

本学卒業生の方の中には、それぞれの免許資格をお持ちで、現在はその資格を活かされていない方もおられるのではないのでしょうか。

子育てが一段落されて、在学中に取得された免許資格など活かして後進の指導に携わってみることはいかがでしょうか？

## 鶴声会からのお知らせ

### 同窓会名簿、個人情報取扱についてのお願い

お持ちの同窓会名簿を転売、紛失しないようご注意ください。

近年、名簿などを悪用したセールスや詐欺等の被害も発生しているようです。

名簿を購入された会員皆様一人ひとりの適切な個人情報の取扱いが重要です。

今後の同窓会活動の運営が円滑に図られるようみなさまのご協力をお願いします。

## コンクール入賞のお知らせ

### 板野 直子さん

(S.61年音楽学部音楽教育学科ピアノ/専修卒業)  
第3回日本音楽コンクール声楽部門審査員奨励賞。



### 小島 佳世さん

(H.25年音楽学部音楽学科声楽専攻卒)  
第14回ベートーヴェン音楽コンクール全国大会声楽部門第2位、第24回長江杯国際声楽コンクール第6位。



## 図書館からのお知らせ

図書館では卒業生ゆかりの資料(図書、CD等)を、入試広報室片山室長と協力により寄贈いただき、登録、展示を行い、在学生をはじめとした利用者の皆様へ利用に供させていただきます。貴重な資料等をご寄贈くださいました卒業生の方には、改めましてお礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

なお、現在は新型コロナウイルス感染症予防対策のため、当面の間(期間未定、随時図書館HPをご確認ください)、学内者(在籍教職員、在学生)のみの利用受付とさせていただきます。本来は卒業生を含め一般の方の利用も可能ですので、利用可能となる時がまいりました際には、どうぞご利用ください。



くらしき作陽大学 作陽短期大学  
附属図書館

〒710-0292 岡山県倉敷市玉島長尾3515  
TEL:086-523-0826 FAX:086-523-0813 HP:http://lib.ksu.ac.jp/

## 新幹事紹介



この度、鶴声会の幹事に就任させていただきました。2016年3月に食文化学部栄養学科を卒業した大塚舞奈です。昨年度より、くらしき作陽大学食文化学部で実習助手として勤務しております。

新型コロナウイルスへの対策等、日々の生活も大きく変化してきました。マスク生活も約2年となり、マスクを外した顔を知らない知り合いも増えてきました。人とのコミュニケーションが難しいものとなってきた近年、より人のつながりが大切であることを実感しています。

私自身、他学年だけでなく、同学年とのつながりも少なく、同窓会等にも参加できておりませんでした。ですが、こうして大学で働かせていただき、在学生や私が在学時代にお世話になった先生方と関わる中で、やはり母校という存在はありがたいと感じています。

鶴声会を通じて、卒業生皆様とつながりが生まれ、それが管理栄養士・栄養士として働いている同士の情報共有の場につながれば、キャリアアップだけでなく、在学生にとっても良い環境になるのではと思っています。

微力ではありますが、卒業生の皆様につながる機会、そして母校を訪れるきっかけが持てるよう努めてまいりますので、何とぞよろしくお願いいたします。

## 卒業生紹介

PIZZERIA LIBERTA 代表 藤原 優輝さん  
平成20年 食文化学部食生活学科 卒業

藤原優輝さんは、卒業後、全国に約70店舗を展開する「Salvatore Cuomo(サルヴァトーレ・クオモ)」などでピザ職人としての経験を積まれました。愛媛出身の藤原さんですが、卒業生であることからのなじみ深い玉島への出店を決められ、その後2015年にお店をオープンされました。



イタリア製のまき窯で焼き上げるナポリピザを主力とし、主なピザは「マリナーラ」「マルゲリータ」「クワトロ・フォルマッジョ〜はちみつがけ〜」「ディアボラ」など10種以上。

「日本ではピザは日常の食べ物と思われていないが、イタリアでは日常の食べ物。混んでなければ3分で焼き上がるので、ラーメンを食べるような気軽さで寄っていただければ」とのことです！テイクアウトにも対応しています。

コロナ禍でもおいしいピザを楽しんでいただけるよう、焼き上げたピザを美味しくそのまゝ-40℃で急速冷凍した真空パックの全国発送も始められています。ぜひみなさま、藤原さんのピザをお召し上がりください！



ホームページ <https://pizzeria-liberta.com/>

岡山メディアサポート 代表 佐藤 郁也さん  
平成22年 音楽学部音楽学科情報音楽専修 卒業

作陽高校から音楽デザインコースへの進学でしたので、高校時代からの積み重ねがとても活かされています。大学の時、楽典等の音楽理論はもちろんですが、レコーディングや、動画編集、WEB制作と、今の仕事に欠かすことのできないスキルを幅広く学べたことが良かったです。講師の方々も、第一線で活躍されている方ばかりで、進学後の繋がりもあり、より実践的な技術を学べます。学生時に、たくさんの時間をかける事ができた環境は、今思えば本当に恵まれていたと実感します。



現在は、パソコンで作曲等を行うDTMをメインとした音楽教室、レコーディングスタジオ、ライブハウスを岡山市で運営。大手の音楽教室が実施できないような多様なニーズに対応した音楽レッスンを行っています。(レッスン内容:歌ってみた/ボカロ/EDM/自宅レコーディング/楽譜制作ソフトの使い方/その他)

コロナ禍の影響によりライブハウス事業へ甚大な影響を受け、どうしようかと悩んでいたところ、今ある機材+aで、ライブ配信を専門とするサービス立ち上げようと思いました。レコーディング技術+映像技術+ネットワーク技術を持っていたので、音楽をする人にとっても満足頂ける配信を実現することが可能になりました。

全国に出張してインターネットで音楽をお届けしています。ライブ配信が収益性の高いものになるようなプランも提案できるようになり、動画制作会社とは少し違った立ち位置で、コロナ禍に生まれた新しい業種だと思っています。

今後はこの配信技術をより高品質なものに成長させ、広く皆様にお届けしたいと考えています。

ホームページ <http://www.okayama-mediasupport.com/>

## お悔やみ

昭和63年3月 音楽学部音楽学科 (Hr) 卒業  
大山久美 様 (旧姓:武内) ※2021年4月30日ご逝去

平成元年3月 音楽学部音楽学科 (Sax) 卒業  
松田寛史 様 ※2021年4月29日ご逝去

平成5年3月 音楽学部音楽学科 (Trb) 卒業  
在間 香 様 (旧姓:久戸瀬) ※2021年4月28日ご逝去

佐藤宏志 先生  
2020年11月22日、長年音楽学部ピアノ講師として勤務されていた佐藤先生が逝去されました。



謹んでみなさまのご冥福をお祈りいたします。